

# gakuto

※学塔※



Spring 2016

No.136



クローアップ

自著を語る。

「アクティブラーニング・シリーズ」

ここから広げよう

各学部の先生からのオススメ本

From Students

時間外開館担当の職員さんに聞きました!

ブックロウのPick Upコーナー!!!

企画展示「本草学から博物学へ」開催報告

秋の文献検索講習会開催報告

電子ジャーナルリスト

移行のお知らせ

「教養ワークショップ」

推薦新書コーナー運用報告

News!

春の図書館ツアーを開催します!

特集

図書館のトリセツ!

三重大学附属図書館研究開発室准教授  
長澤多代先生



大学図書館にどんなイメージをお持ちですか？  
図書館は皆さんの学習や研究を支える、大切な役割を担っています。そんな大学図書館の役割を、附属図書館研究開発室の長澤多代先生にお話いただきました。

また、今後皆さんが研究をしたり社会へ出て仕事をしたりするときに、自分一人では乗り越えることが難しい壁に阻まれることがあるかもしれません。そんな時、周りとの連携ができれば突破できるかも？周りとの連携のきっかけをつくる秘訣も、ご紹介いたします！

■PBLや探究型学習と大学図書館の関係  
をまとめた章

― 図書を紹介をお願いします ―

大学と高校の教員を対象にしたアクティブラーニングのガイドブックで、全7巻の構成になっています。第2巻のテーマは「アクティブラーニング」としてのPBLと探究的な学習です。私はこの第2巻「問題解決や課題探究のための情報リテラシー教育」を担当しています。その重要性がますます高まっているように思います。

また、学生同士が話し合いながら学習できるラーニングコモンズを設置する大学も増えています。三重大学の附属図書館にもありますが、多様な資料や図書館サービスを活用しながら授業の準備や復習によりよく取り組める環境を整えています。

■連携のきっかけは、いたる所にあります

― 教員と図書館職員との連携を研究テーマの1つにされていますね。この図書でも、よりよい情報リテラシー教育のための授業での連携について説明されています。先生が今まで調査をされた中で、図書館職員が、連携のきっかけをどのように得て、どのように進めていったのか、事例を教えてください。

アラム・カレッジの事例があります。アラム・カレッジは、アメリカの教養カレッジで、「学ぶ方法を知る」ことを教育目標にしています。何かを覚えるというよりは自分一人で学習できるようにするという目標です。そのために、多くの授業科目でレポートやグループ研究などの探究型学習を組み入れているのですが、図書館が十分に利用されてはいませんでした。

ある時、図書館職員が、「The Bear」の著者は誰ですか？という質問が何度もレファレンスカウンター（参考調査のデスク）に寄せられることを気に留めたのです。何でだろうと思って学生にたずねると、みんな同じ先生の授業の課題を仕上げするために質問をしていたことが分かりました。そのときに、図書館職員が授業で情報の探索法について説明する機会を持てば、学生は基本的な事項を自分で調べることができ、より発展的な内容の質問を図書館職員に

当しました。アクティブラーニングといっても、多様な形態がありますが、ここでは、PBL（問題解決型学習）や探究型学習と大学図書館が提供する情報リテラシー教育との関係を説明しています。

■ラーニングコモンズや情報リテラシー教育  
による大学図書館の機能強化

― 今のお話で、アクティブラーニングや情報リテラシー教育といったキーワードが出てきました。従来は先生が学生に知識を授けるという形式の授業が基本でしたが、今の大学の教育は変化していますね。学生自身が課題を探究して問いをつくるという、能動的な学習の機会も増えています。そんな変化に対して、大学図書館はどのように対応していますか？

PBLや探究型学習を導入した授業では、教科書の内容を理解するだけでなく、自分で問いを設定し、その問いに関する情報を広く収集して、自分なりの見解を示すことが求められます。問題や課題への理

たずねるようになるかもしれない、こうなれば、学生にとっても図書館にとってもよりよいのではないかと感じました。そこで、そのクラスの先生にたずねて授業の中で説明をしてみたら効果があったので、ほかのクラスにも広げていったそうです。

こうした連携のきっかけはいろいろあるところに落ちています。自然体で、いろいろな人と交流したり情報を交換したりする中で、つながりの種が見つかりました。これを丁寧につなげていくことが大切だと思います。

■5050年代に向けてのメッセージをお願いします。

いろいろなことに関心を持ち、関心のアンテナを増やしてください。また、アンテナの感度も高めて欲しいと思います。ひとつの感度を高めることで、他の関心への感度もさらに高まると思います。楽しみながらアンテナを増やして欲しいです。その中で、図書館を利用したり、教員や図書館職員にもたずねたりして、楽しみながら学習や研究を進めて欲しいです。また、在学中に県立図書館や市立図書館、博物館や美術館などを利用する習慣を身につけ、卒業後にも多様な場面で活用してほしいと思います。

『アクティブラーニング・シリーズ』  
(全7巻) 溝上慎一監修、東信堂

- 第1巻 アクティブラーニングの技法・授業デザイン
- 第2巻 アクティブラーニングとしてのPBLと探究的な学習
- 第3巻 アクティブラーニングの評価
- 第4巻 高等学校におけるアクティブラーニング：理論編
- 第5巻 高等学校におけるアクティブラーニング：事例編
- 第6巻 アクティブラーニングをどう始めるか
- 第7巻 失敗事例から学ぶ大学でのアクティブラーニング

【長澤多代先生プロフィール】  
三重大学附属図書館研究開発室の准教授。専門分野は図書館情報学で、人文学部の司書課程で「図書館サービス論」、「情報サービス論」、「図書・図書館史」を担当している。研究テーマは、大学教育における教員と図書館員の連携構築で、アメリカ、カナダ、フィンランドの大学のケーススタディに取り組んでいる。



ここから広げよう!!各学部の先生からのオススメ本

READING LIST

教養教育機構 長濱文与 先生

藤田哲也 編著  
『絶対役立つ教育心理学：実践の理論、理論を実践』  
ミネルヴァ書房、2007年5月出版  
【所在】 図・開架・図書  
【請求記号】 371.4/F67

教育心理学に関する書籍は多数存在するが、タイトルにもあるように、本書は「理論をいかに実践で活用できるか」という点に重点を置いている。「発達」と「学習」を中心に、理論や概念そして具体的事例が噛み砕いてまとめられている。心理学は身近な人間関係をはじめとする社会生活全般に活用可能な学問である。本書をきっかけに自分の過去・現在・未来を考える一助として欲しい。

生物資源学部 諏訪部圭太 先生

ブレンダ・マドックス[著]；  
鹿田昌美訳  
『ダークレディと呼ばれて：二重らせん発見とロザリンド・フランクリンの真実』  
化学同人、2005年8月出版  
【所在】 図・開架・図書／図・書庫  
【請求記号】 289.3/F44

DNA二重らせん構造の発見者と聞けば誰もがワトソンとクリックを思い浮かべるであろう。ところで、ワトソン著「二重らせん」でダークレディとされるロザリンド・フランクリンをご存じだろうか？彼女なくして先の発見はなく、本来ならば二重らせん物語の主人公の一人である。それにもかかわらずなぜダークと呼ばれたのか？彼女の豊かな人間性を知るとともに学問界の闇を見た気がする。

工学部 成瀬典 先生

佐藤和也、只野裕一、  
下本陽一 著  
『はじめての線形代数学：工学基礎』  
講談社、2014年8月出版  
【所在】 図・開架・図書  
【請求記号】 412.3/Sa85

線形代数学の基礎をなす行列は高校の学習内容から削除されたが、行列を用いた解析は工学部をはじめとする多くの学部で必要である。このような状況を考慮し、本書はわかりやすい図や例を多く用いるとともに、冒頭部分では行列の、ロボット、機械、電気システム、構造解析などへの応用も概説している。学習の意味がイメージできる新しいタイプの入門書である。

医学部 成田正明 先生

らせんゆむ 著：  
かんもくネット解説  
『私はんもくガール：しゃべりたいのにしゃべれない場面緘黙症のなんがおかしな日常』  
合同出版、2015年2月出版  
【所在】 図・開架・図書  
【請求記号】 378/R17

「場面緘黙（ばめんかんもく）」という状態を聞いたことがあるだろうか。しゃべりたいのにしゃべれない症状。一見理解されにくいためさまざまな誤解を招くこともある。本書は場面緘黙の困り具合をわかりやすく書いてある。必見は克服法。三重生として必読の書！

教育学部 松本昭彦 先生

加地伸行 著  
『儒教とは何か』  
中央公論社、1990年10月出版  
【所在】 図・開架・図書  
【請求記号】 124/Ka22

「儒教は、原儒のシャ머니ズムを基礎にして、孝という独自の概念を生み出し、この孝を基礎にして家族自治を造り、さらにその上に政治理論を造り出し、一つの体系的理論を構成した」と、孔子の儒教の成り立ちを説明し、宗教としての独自性を仏教・道教など他宗教との比較を通して考察する。現代中国社会を知る上でも基本図書の一冊であろう。

人文学部 森原康仁 先生

香山リカ[ほか] 著  
『ヒューマンライツ：人権をめぐる旅へ：香山リカ「対談集」』  
ころから、2015年12月出版  
【所在】 図・開架・図書  
【請求記号】 313.19/H99

特定の民族的出自をもつマイノリティにたいする差別が横行している。部落差別も依然として根強い。本書は「現場」で抗議し、支援活動を継続する7人と精神科医の香山リカとの対談集である。ヘイト（差別扇動）街宣に直接抗議する「カウンター」のひとりである青木陽子は、本書で「知識がある人間だけが発言するのではだめだ」と指摘している。大学人はこの言葉を重く受け止める必要がある。

# 図書館のトリセツ!

## 特集

図書館はとても奥が深い!もしかしたら、自己流の使い方をする大切なサービスを見落としてしまつたかもしれません。ぜひトリセツを活用して、図書館が提供している「資料」「場所」「人」を活用できるようにしてください。図書館を上手に使いこなすことが、学習を効率よく進めるコツです!



### 安全上の注意



指定された場所以外での飲食は、資料が痛む原因となります。



迷惑駐輪は、緊急車両の通行に影響が出る場合があります。



貴重品は、必ず身につけて行動してください。

### 基本構成 (目的に応じた使い分け)

#### 1F Commons Area (会話可エリア)

- 雑誌 ●視聴覚資料 ●パソコンコーナー
- サービスカウンター ●ラーニングcommons



#### 2F Quiet Area (静音エリア)

- 図書 ●閲覧席 ●研究個室 ●パソコンコーナー
- アメニティコーナー



#### 3F Silent Area (無音エリア)

- 閲覧席



### 三重大にある図書や雑誌を探そう

●三重大学OPACで検索  
三重大学OPAC URL : <http://opac.lib.mie-u.ac.jp/opc/>

キーワードを入力して検索!  
※雑誌の検索の場合は、雑誌名で検索



●直接書架で探す



### 困ったことがあったら!?

#### こんなときは

書庫にある図書を利用したい



OPACでの所在例

#### どうする

書庫にある図書を利用する場合は、館内に置いてある「書庫内図書請求票」を書いてカウンターに提出してください。図書館職員が出納します。また閉架書庫利用のためのガイダンスに参加した場合は、閉館の15分前まで書庫に入ることが出来るようになります。ガイダンス参加申込は、参考調査カウンターで受付しています。

学部にある図書や雑誌を利用したい



OPACでの所在例

学部にある資料は、取り寄せをして利用することができます。取り寄せの申し込みは、参考調査カウンター(平日9:00~17:00)、もしくはWebサービスで受付しています。



利用したい図書が三重大に無い

所蔵している他の図書館から取り寄せ(原則として有料)が可能です。取り寄せの申し込みは、参考調査カウンターもしくはWebサービスで受付しています。また、図書館に購入リクエストを送ることもできます。

欲しい情報がどの資料に載っているか分からない

参考調査カウンターで、資料探しのお手伝いをすることが出来ます。

集中できる環境で論文執筆をしたい

図書館2階の研究個室と、図書館3階の閲覧席がオススメです。研究個室は、各学部の最終学年のかたと大学院生のかたが利用できます。

図書館にあるはずの図書が、棚に並んでいない

貸出カウンターにご相談ください。図書館職員が探します。探し出すまでに、数日かかる場合があります。

県立図書館の本を返却したい

県立図書館で貸出手続きをした図書を、三重大の図書館で返却することができます。県立図書館の利用券と図書を持参してください。

発表の練習がしたい

1階ラーニングcommonsは、グループ学習をするだけでなく、プロジェクターを用いてプレゼンテーションの練習をすることもできます。

### 仕様

#### ●基本情報(平成26年度)

【蔵書数】95万冊 【図書】79万冊 【備品雑誌】16万冊 【年間貸出冊数(学部学生)】67000冊  
【閲覧席】740席

### 各種問い合わせ先

#### 図書貸出・開館情報

【担当係】利用者サービス担当(閲覧)  
【電話番号】059-231-9088 【E-mail】lib-service@mie-u.ac.jp

#### 他図書館からの資料取寄せ

【担当係】利用者サービス担当(ILL)  
【電話番号】059-231-9660 【E-mail】portal@ab.mie-u.ac.jp

#### 参考調査の依頼

【担当係】利用者サービス担当(情報リテラシー)  
【電話番号】059-231-9089 【E-mail】literacy@ab.mie-u.ac.jp

### 図書を利用する



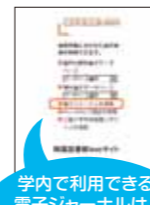
貸出カウンター



図書自動貸出返却機

図書の貸出は、2週間可能です。2週間では読み切れず、もっと長期図書を借りたい場合は、貸出の期間内に返却期限の延長手続きをしてください。手続きをした日から、2週間返却期限を延ばすことが出来ます。返却期限の延長手続きは、貸出カウンター、自動貸出機のほか、Webサービスでも受付しています。

### 雑誌(論文)を利用する



学内で利用できる電子ジャーナルは、Publication Finderから利用できます。



複写機

図書館での資料の複写は…

- 本人の調査研究の目的のためであること
- 公表された著作物の一部分であること(発行後相当期間を経過し、通常の販売経路による入手が困難となった定期刊行物に掲載された著作物については、その全部も可)
- 一人につき一部の複写であることという制限があります。したがって、雑誌の最新号に掲載されている論文全文の複写はできません。



# From Students

# 三重大学図書館



平日の夕方や土日に、図書館で働いてくれている学生さん(時間外開館担当職員)に、  
知っていただきたい図書館サービスやお薦めの場所を教えてくださいました。  
また、お薦めサービスを紹介する四コマ漫画も考えてくれました!

## Myポータルを活用しよう!



ストーリー作:M.M.

## 時間外開館担当の職員さんに聞きました!



工学部 太田和滉 さん

皆さんは図書館に忘れ物をしたことがありますか?

図書館カウンターでは、貴重品類や筆箱、手袋等の拾得物を一時的に預かっています。貴重品類以外は1カ月(USBメモリー等貴重品は6カ月)前の分までしか保管されませんので、紛失に気づいた場合は

早めにお尋ねください。特に試験期間には、USBメモリーをPCに挿したまま忘れていく方が多数みえます。データを守るためにも、抜き忘れには十分にお気をつけください。

また、館内は指定場所以外飲食禁止のはずなのですが、机付近に飲食物のゴミが忘れられていることがあります。他の方が気持ちよく利用できるよう、ルールをしっかりと守っていただくとともに、使用後の机は元通り綺麗にしておいてください。

最後になりますが、私たち時間外開館担当者も、本を探す等のできる限りのサポートをさせていただきます。お困りの際はお気軽に一階カウンターへお越しください。



工学部 唐澤冴佳 さん

私が図書館でお勧めする場所は、様々な映像資料を見ることが出来る視聴覚コーナーです。プロジェクトXやNHKスペシャルなどの楽しみながら学べるTV番組から、ローマの休日などの古典的名作映画まで様々な資料があります。視聴覚ブースは個室のように区切られていて、寛ぎながら楽しむ

ことが出来ます。勉強の息抜きや、授業と授業の間の空き時間などにぜひご利用下さい。

また、レポート等を執筆する際に利用しているのは、学内のLANを通じてアクセスできるオンラインデータベースです。論文の検索にはCinii Articlesを、雑誌を調べたい時には日経BP記事検索サービスをよく使っています。これらを利用することで、無料で手軽に様々な情報が手に入るのでもっとも重宝しています。図書館ホームページの、DB一覧からアクセスすることが出来ますのでこちらもぜひご利用してみてください。

From Students



Pick Up!

# ブックロウの

# ick Up コーナー!!

図書館のホームページ  
<http://www.lib.mie-u.ac.jp/>  
から Check it out !!

## 企画展示「本草学から博物学へ」開催報告

2015年12月3日～2016年2月19日に企画展示「本草学から博物学へ」を附属図書館玄関ホールで開催しました。館蔵貴重資料のうち、江戸期の本草学の書物と明治期の博物学の教科書など計14点を公開しました。資料の中には附属図書館のみが所蔵する貴重な写本もありました。昔の人たちが抱いた自然への探究心がよく伝わるほか、近代に入って博物学が啓蒙された過程がよくわかる展示でした。展示には附属図書館研究開発室兼務室員吉丸雄哉先生(人文学部准教授)、人文社会科学研究所大学院生稲本紀佳さんにご協力いただきました。



## 秋の文献検索講習会開催報告

10月19日(月)から23日(金)にかけて、秋の文献検索講習会を開催しました。

今年は、図書館職員が行う海外文献検索講習会に、文系版が加わりました。また、「Web of ScienceとEndNote basic講習会」、「SciFinder講習会」を外部より講師を招いて行いました。

秋の講習会全体では70名の参加があり、「演習等で実際に検索することで理解が深まりました(WoS&EndNote講習会参加者)」「化学構造についての書き方はかなり興味深かった。そこから調べられるのはかなり便利だと思う。(SciFinder講習会参加者)」などの感想が寄せられました。

ゼミやグループ単位での講習会の申し込みは随時承っております。詳細は、附属図書館Webページをご参照ください。

情報リテラシー講習会(附属図書館Webページ)へのアクセスはこちら: [図書館ホームページ] → [情報リテラシー教育支援] → [講習会TOP]

## 電子ジャーナルリスト移行のお知らせ

旧電子ジャーナルリストの電子ジャーナルリストAtoZは、後継サービスのPublication Finderに移行しました。Publication Finderで三重大で利用することができる電子ジャーナルを、タイトルなどから検索して探すことが可能です。

Publication Finderへのアクセスは、こちらから: [図書館ホームページ] → [電子ジャーナル] → [電子ジャーナルリスト]



## 「教養ワークショップ」推薦新書コーナー運用報告

後期の授業期間中、図書館1階には教養ワークショップ(授業)の推薦図書として、新書93冊が並んでいました。

教養ワークショップでは、新書を読み切り、内容を相手に伝えたり、内容をまとめ自分の意見を付加し、書評を書く試みをしています。図書館でも、図書を囲んで話し合いをする学生さんの姿がありました。

学生さんからは、「短い時間で興味のある本を絞ることができた。」「全部の本が置いてあって助かった。」といった感想が寄せられました。授業ご担当の教員からも、「学生ばかりではなく、機構外の教員や学外からの来校者に、本校の取り組みを知ってもらいよい宣伝になっている。」と好評を得た一方、「書評集コーナー、レポートの書き方の手引書コーナーを併設すると、教育効果が高まるのではないか。」のようなアドバイスもありました。

ブックロウのPick Up コーナー

# News! 春の図書館ツアーを開催します!

編入生や大学院生を対象に、図書館ツアーを行います。ぜひご参加ください。

※学部新入生の皆さんは、このツアーとは別に教養教育の授業「スタートアップセミナー」で図書館ツアーに参加いただけます。

4月 11日・13日・15日

開催時間 12:15~12:40

集合場所 図書館1階玄関ホール



## 図書館職員による自転車整理活動報告

1月21日~2月9日に、図書館玄関前の駐輪自転車の整理活動を行いました。工事によって道路幅が狭くなっていたこともあり、皆さまの通行に支障が無いように行ったものです。

### 教員執筆寄贈図書リスト (2015年7月~12月受入分)

- 後藤太一郎 副学長/『ワークブックで学ぶ生物学の基礎 第3版』  
Tracey Greenwood, Kent Pryor, Richard Allan共著. オーム社, 2015.11, 図・展示棚 [460/G83]
- 小川眞里子 名誉教授/『病原菌と国家: ヴィクトリア時代の衛生・科学・政治』  
小川眞里子著. 名古屋大学出版会, 2016.2, 図・展示棚 [491.7/O24]
- 山田雄司 人文学部教授/『三重県文化財講習会講演録 第32回』  
三重県指定文化財等所有者連絡協議会. 三重県指定文化財等所有者連絡協議会, 2015.7, 図・展示棚 [701.9/Mi15/32]
- 山田雄司 人文学部教授/『怪異を媒介するもの』 東アジア怪異学会編. 勉誠出版, 2015.8, 図・展示棚 [388/Ka21]
- 山田雄司 人文学部教授/『忍者修行マニュアル』 山田雄司監修. 実業之日本社, 2015.11, 図・展示棚 [789.8/N76]
- 岩本美砂子 人文学部教授/『ジェンダーと政治過程』  
日本政治学会編. 木鐸社, 2010.12, 図・開架・図書・図・展示棚 [310.5/N64/2010(2)]
- 前田定孝 人文学部准教授/『現代の災害と防災・減災: 災害問題シンポジウムin広島報告集』  
日本科学者会議災害問題研究委員会監修. 災害被災者支援と災害対策改善を求める広島県連絡会, 2015.8, 図・展示棚 [369.3/G34]
- 成田美代 教育学部名誉教授/『三重の味千彩万彩 続』  
みえ食文化研究会編集. みえ食文化研究会, 2015.6, 図・展示棚 [383.8/Mi15/2]
- 藤田達生 教育学部教授/『明智光秀』  
藤田達生, 福島克彦編. 八木書店古書出版部八木書店(発売), 2015.10, 図・展示棚 [289.1/A33]
- 荻原彰 教育学部教授/『自然と共同体に開かれた学び: もうひとつの教育・もうひとつの社会』  
荻原彰著. 鳥影社, 2015.8, 図・展示棚 [370.4/O25]
- 和田崇 教育学部講師/『作家/作者とは何か: テキスト・教室・サブカルチャー』  
日本近代文学会関西支部編. 和泉書院, 2015.11, 図・展示棚 [904/Sa42]
- 金子聡 工学部教授/『機器分析』 大谷肇編著; 梅村知也 [ほか] 著. 講談社, 2015.9, 図・開架・図書・図・展示棚 [433/Ki22]
- 菅原洋一 工学部教授/『明治期商家銅版画資料に関する歴史情報学的研究』  
研究代表者 菅原洋一. 菅原洋一, 2013.3, 図・書庫・科研報告 [682.1/Su28]
- 小田巻実 生物資源学部特任教授/『詳論沿岸海洋学: 沿岸海洋研究会50周年記念』  
日本海洋学会沿岸海洋研究会編. 恒星社厚生閣, 2014.1, 図・展示棚 [452/Sh96]
- 杉崎鉦司 教養教育機構教授/『はじめての言語獲得: 普遍文法に基づくアプローチ』  
杉崎鉦司著. 岩波書店, 2015.11, 図・展示棚 [801.04/Su45]
- 藤田昌志 国際交流センター准教授/『比較文化学的考察』  
藤田昌志著. 晃洋書房, 2015.10, 図・展示棚 [302.22/F67/2]

【見かた】 ●寄贈者 所属/『書名』著者名. 出版社(者), 出版年月, 所在[請求記号]

### \*\*編集後記\*\*



●表紙の写真: 図書館2階のアメニティーコーナーです。入退館ゲートの外ではありませんが、飲食をすることができて、会話や携帯電話での通話も可能な場所です。長時間の学習をする場合のリラックスのために、ぜひご利用ください。図書館に隣接した、環境・情報科学館への連絡通路もあります。

新入生の皆さま、入学おめでとうございます!これからの生活に、胸を躍らせていらっしやることと思います。学習はもちろん、趣味やサークル活動などを充実させて、学生生活を楽しんでください。

さて今号の特集は、「図書館のトリセツ!」です。今回、このページを作るために手元にあった家電の取扱説明書を改めて読んでみました。今まで気づけなかった機能もあって、自己流での使用を少し反省しました。図書館も同じだと思います。ぜひこの冊子を見たり、カウンターに居る職員に聞いたりして、使用上のコツを身につけてくださいね。